



## 災害医療について② DMATの紹介

監修  
市民病院  
DMAT  
(災害派遣  
医療チーム)



ID 751376216 (ほのか診察室)  
問合せ 市民病院(代表) TEL 22・2171

災害発生時には、日本赤十字社が常備編成する救護班、日本医師会が組織するJMAT（日本医師会災害医療チーム）、阪神・淡路大震災の教訓を生かし発足した日本DMATなど多くのチームが協力して、災害医療活動に従事します。

### DMATとは？

災害派遣医療チーム「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字を取り、略して「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員（医師や看護師以外の医療職及び事務職員）の1チーム最低4名で構成され、厚生労働省が実施する専門的な研修や試験を受けた医療チームです。

## 連載

DMATは、災害急性期（発災から概ね48時間以内）に活動できる機動性と自己完結性を備えています。災害時に多くの傷病者が運ばれる被災地内の病院機能を維持・拡充する

ための支援活動や、重症傷病者を被災地外の医療機関へ搬送する広域医療搬送など専門性を活かした医療的支援を行います。

### 医療機関での災害対応体制と情報システム

災害発生時、すべての医療機関は、職員や患者さんの生命と健康を守るため、災害モードに切り変えて機能維持を図ります。被災により建物倒壊の危険性がある場合や、病院機能維持が困難な場合には、病院から避難することもあります。また災害時は医療需要と医療資源のアンバランスが生まれるため、医療提供マネジメントを効率的に行う必要があります。国、都道府県、医療機関等は、EMISなどを活用することで被災状況を把握し、都道府県災害対策本部、DMATなどと連携を取り、応援の派遣、搬送調整、搬出トリアージや患者情報の伝達などが行われます。

### EMIS（イーミス）とは？

EMIS（広域災害・救急医療情報システム）は、被災地における人・モノ・情報のニーズに対応するために、災害時の医療情報をインターネット上で集約・共有し、被災地支援時に役立てられるようにしたツールです。医療機関や避難所の支援に必要な情報を集約する機能やDMATや救護班の活動状況を可視化する機能、広域医療搬送時の患者管理機能などがあります。

医療機関においては安否確認の意味があり、発災時には速やかにEMISに被害状況の入力を行い、要支援か否かを発信し、その後も定期的に情報更新します。

### 災害訓練

災害が起きれば各被災地へ派遣され被災地内での活動を行い、当院が被災すれば院内の災害対応を行います。また、災害が起きなくても定期的に訓練（内閣府が主導

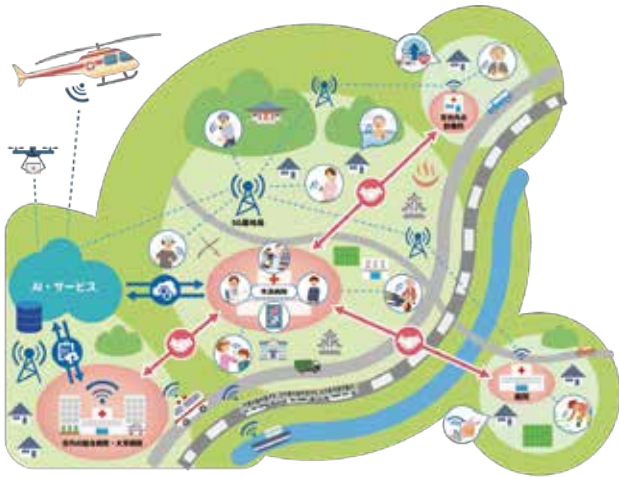
の政府総合防災訓練、中部ブロック実動訓練（写真）など）に参加し、高度かつ専門的な訓練を繰り返し、技能維持を図り、平時から災害に備えています。



▲2023年10月中部ブロック実動訓練

万が一の時の備えとしてDMATは活動しています。行政（県・市町村）や消防、警察、自衛隊などとも連携を取りながら、「避けられた災害死を減らす」「一人でも多くの命を助ける」ために、災害拠点病院、DMAT指定医療機関としての役割を果たしていきます。

問合せ:総合政策課(TEL.23-7696)



医療“あるべき姿”のイメージイラスト

- GXテーマ.....9月号掲載
- 健康テーマ.....12月号掲載
- 教育テーマ.....1月号掲載

文責 名古屋大学大学院  
医学系研究所  
人間拡張・手の外科学  
教授 山本美知郎

今回は7月号で紹介した4つのテーマのうち、4つ目の医療テーマの取り組みを紹介しします。医療は通信技術や情報工学の発展と共に、この先20年間で大きく変化すると予測されています。先進的なテクノロジーの活用により、ヒトやモノがネットワークのように繋がることが選べる未来になります。その考えのもと、新城市市民病院、地域医療支援室と名古屋大学が議論を重ねてイラストが完成しました。

このイラストは新城市の特色を散りばめながら、いつでもどこでも「スマートにつながる医療」をコンセプトに描いています。ここでは住民が通信網の中で暮らしながら、スマートウォッチなどのウェアラブル端末で自身の健康データを管理でき、病院などで記録したデータを参照することもできます。急な病気や怪我をした時も、これまでの健康データとの比較により最適な医療が安心して受けられる仕組みです。このイラストの実現にはいくつものハードルがありますが、実現に向けた具体的な取り組みを産学官民連携で進めていく予定です。

新城市自治基本条例10周年

チャンネル 10



自治チャンネル

問合せ:市民自治推進課(TEL.23-7697)

地域自治区予算の委託事業として高齢者の日常生活支援を行う活動団体「ピンコロの会」の代表、牧野直美さんからお話を伺いました。



まきの なおみ  
▲ 牧野直美さん  
(新城地区)

地域自治区予算とは

新城市の地域自治区制度を動かすポイントの1つです。限られた財源を効果的に使って、地域ごとに異なる課題への対応や将来への取り組みができるよう、地域の皆さんが市の予算の使い道を考え、市が実施する予算です。

牧野さんインタビュー

平成26年度から4年間、新城地域協議会に携わらせていただきました。

当時の新城地域協議会にて、高齢者世帯が日常生活を送る上で苦労することは



多く、少しでも支援できることはないかと議論を重ねました。結果、女性民生委員のボランティア活動として高齢者の日常生活支援を行うこととなり、平成29年に「ピンコロの会」を立ち上げました。

活動を続けていく中で、高齢者の日常生活支援として、資源回収や買物代行などを地域の支援者に行ってもらえる「しんしろお手伝いチケット(地域通貨)」の活動だけでなく、高齢者同士の交流を目的とした「しんしろまちなかサロン」も開催するようになりました。

取組が、男性民生委員や社協さんにも拡がり、支援者も地域住民のご協力により、団体の維持ができていく状況です。少しでも安心して老後を過ごせる地域となるように今後も「共助」の輪を広げていきます。



▲ 令和5年度しんしろまちなかサロンの様子





令和5年11月1日現在の外国人住民人口 1,227 人

問合せ:市民自治推進課(TEL.23-7697)

### 外国人も活躍できるまち

まちのため、地域の人とのお付き合いのために行政区に加入している人は多いのではないのでしょうか。

行政区の主な活動として、防災・防犯・安全のための活動、交流・イベント活動、情報伝達のための活動、美化活動などが行われています。これらの活動を通じて、自分たちのまち・地域がより住みやすくなっていくことが期待されます。

しかし、こういった活動を続けていくためには、それを担う人がどうしても必要になります。特に少子高齢化が進んでいる地域ほど、活動を盛り上げる担い手不足に悩んでいます。

そこでぜひ目を向けていただきたいのが、地域で暮らしている外国人の皆さん。新城市に住んでいる日本人の生産年齢(15〜64歳)人口が日本人総人口に占める割合は約50%であるのに対し、外国人は脅威の約90%です(令和5年4月1日現在)。

地域の外国人を一時的なゲストとして放っておくのではなく、同じ地域の一員として迎え入れることができれば、一緒に地域を盛り上げていく仲間が増えます。

そのために、まずは地域の運動会や防災訓練などに近所の顔見知りの外国人を誘ってみて交流してはいかがでしょうか。誘われた外国人も、自分が地域の一員として認められていると分かれば嬉しいはずですよ。

住民一人一人が、住んでいる地域を「自分のまち」として捉え、住みやすく、活力あるまちにしていけるといいですね。

住民一人一人が、住んでいる地域を「自分のまち」として捉え、住みやすく、活力あるまちにしていけるといいですね。



▲ 平井地区在住の技能実習生と地元市民が交流しました。

### ニューキャッスル・アライアンス

### デイビッドだより

問合せ:市民自治推進課(TEL.23-7697)

今回はチェコの料理について紹介します。



デイビッド・フォークナーさん

今回はニューキャッスル・アライアンス会議が開催されたチェコの料理について紹介します。

チェコの主食はジャガイモです。パンや麺を食べることもありますが、肉料理や魚料理にもフライドポテト、マッシュポテトやジャガイモで作った蒸しパンが付いてきます。

また、チェコで魚料理と言えば、「鯉」。クリスマス近くになると、マーケットやスーパーで生きた鯉が一匹丸々売られているようで、それを買って、家族みんなで食べるそうです。

今回の会議でも、鯉料理やジャガイモ料理が振る舞われました。



▲ フライドポテトと豚肉



▲ バイクドポテトと牛肉



▲ 鯉のフライ



ID 312019731 問合せ:学校給食課(TEL.22-9906)

これまででも、9月に稼働する共同調理場に合わせ、各小中学校の給食室などの改修・増築工事の状況についてお伝えしてきました。今月は鳳来東小学校の工事内容と進捗状況をお知らせします。

鳳来東小学校は、コンテナで配送される他の学校と異なり、食缶に入れられた給食をクールバッグ（保冷バッグ）に入れ食器と一緒にライトバンで配送されます。配送された給食はランチルームへ運び込み、子どもたちはランチルームで給食を食べます。そのため、既存のランチルームの改修を行っています。現在は牛乳・デザート用保冷庫などが設置され、内部の工事がほぼ完了しました。今後は、外構工事（車路の舗装改修など）を行う予定です。

鳳来東小学校の受入室の工事は、3月完了予定です。

▶鳳来東小学校



## 再発見!



## わがまちの文化財・施設紹介

問合せ:長篠城址史跡保存館(TEL.32-0162)

## 於ふうの墓

天正3年(1575)長篠・設楽原の戦いで、長篠城主を務めた奥平信昌の正室といえは徳川家康の長女、亀姫です。しかし、信昌には亀姫との結婚以前に「於ふう」という婚約者がいたことをご存知でしょうか。

於ふうは、奥平氏が武田氏への従属を約束する証として甲斐国に送られた人質でした。

武田信玄の死後、信昌は武田氏を離反して徳川氏に帰参することとしたため、これに激怒した武田氏は於ふうを磔刑に処し、天正元年(1573)16歳の若さで亡くなってしまいます。

於ふうと信昌の過ごした奥三河の地は、今川氏の三河侵入以降、三河の松平氏(徳川)、尾張の織田氏、甲斐の武田氏ら有力大名たちの勢力争いの狭間にありました。元々奥三河の国衆であった奥平氏は大名たちのような政治的権力は持たず、大名に軍事的な協力をする

ことで土地の領有と自家の存続を保障されていました。そのため、常に社会情勢の動向を伺い、力のある大名との主従関係を築くことは一族が生き抜くためには必要不可欠だったので。

そして、天正3年の長篠城での籠城戦で武田軍の猛攻からお城を守り抜いた信昌は、徳川家康の長女である亀姫を妻として迎え入れます。

2人の間には4男1女の子宝に恵まれ、信昌は亀姫と結婚後も側室を持つことはなく、良好な夫婦関係を築きました。

戦乱の世の政治に翻弄され、於ふうを失っていた信昌は、家族を大切に、平穏に暮らせる日を強く望んでいたことでしょう。



▲於ふうの墓

第9話

一人ひとりが人として尊重され  
心豊かに生きられる  
明るい社会づくりをめざして

問合せ 福祉課 (TEL 23・7624)

令和5年度 表彰

藍綬褒章

戸鹿島なほ子

全国保護司連盟理事長表彰

家族功労者

坂田澄子

中部地方更生保護委員会

委員長表彰

神谷良行

中部地方保護司連盟会長表彰

石野泰志、稲垣孝治

小野田直美

名古屋保護観察所長表彰

森田隆弘

名古屋保護観察所長感謝状

酒井京子

愛知県更生保護女性連盟会長表彰

中尾絹枝、天野京

新城市功労者表彰

浅賀定雄、白井秀和

新城市感謝状

鈴木達雄



東三河地区更生保護女性会  
ブロック研修会

日時／令和5年10月24日(火)  
 場所／新城文化会館 小ホール  
 講演／児童養護施設の概要と  
 子ども食堂  
 講師／八楽児童寮  
 副寮長 太田哲平氏



今年度は新城文化会館で東三河地区更生保護女性会のブロック別研修会が開催されました。児童養護施設八楽児童寮の太田哲平副寮長から児童寮の成り立ちから日々の暮らし、子ども食堂の様子などを分かりやすくお話いただきました。講演会後のアトラクションでは、理事全員がショッキングピンクのTシャツ姿で舞台に上がり「健康体操」を披露しました。客席の会員や来賓の皆さんも参加してくださいました。身体も心もほぐれて、和やかなひと時を過ごすことができました。東三河地区の仲間が人数制限なしで研修会に集まってくれました。



今年度は新城文化会館で東三河地区更生保護女性会のブロック別研修会が開催されました。児童養護施設八楽児童寮の太田哲平副寮長から児童寮の成り立ちから日々の暮らし、子ども食堂の様子などを分かりやすくお話いただきました。講演会後のアトラクションでは、理事全員がショッキングピンクのTシャツ姿で舞台に上がり「健康体操」を披露しました。客席の会員や来賓の皆さんも参加してくださいました。身体も心もほぐれて、和やかなひと時を過ごすことができました。東三河地区の仲間が人数制限なしで研修会に集まってくれました。

おにぎり支援  
更生保護施設「智光寮」へ

新城地区は11月に担当した9名の会員が各家庭の炊飯器でご飯を炊き、それを公民館へ運んでおにぎりを作りました。今年度は五升四合のお米で158個お届けすることができました。おにぎりと共に思いが伝わることを願って。



千郷・八名地区合同で10月27日に、一鉄田の江泉院の台所をお借りしておにぎり作りをしました。3年目になるので、会員も役割分担して手際よく作ることができました。400個以上のおにぎりを箱に詰め、役員が智光寮へ届け、皆さんにとっても喜んでいただきました。





2月の休館日 19日(月)～29日(木)

開館時間 9:00～20:00



新城図書館だより

※「背ラベル」は、本を分類して書棚に並べるために決めた、本の住所ラベルのことです。 問合せ:新城図書館(TEL.23-2333 FAX.24-3415)

# 今月のチュウモク本!



一般書

## 「この会社、後継者不在につき」

かつら のぞみ  
桂 望実 / 著  
背ラベル [913.6カ23]



後継者選びに悩む中小企業の二代目社長に、型破りの中小企業診断士が提案したのは、前代未聞の決定策だった!

一般書

## 「間違いだらけの新NISA・イデコ活用術」

たむら まさゆき  
田村 正之 / 著  
背ラベル [338.8夕23]



1月開始の新NISAやイデコで、買わない方がいい商品や避けるべき運用方法を紹介。効果的に資産を増やしたい方は是非。

児童書

## 「用具室の日曜日 へたな手品師はすぐおこる」

むらかみ  
村上 しいこ / 作  
背ラベル [91ヨ23]



小学校の用具室の仲間たちが、こどもまつりに出かけます。そこで、変なしゃべり方でおこっているおじさんと出会い…。

児童書

## 「まる見え! 日本史超図鑑」

れきし ぐんぞう へんしゅうぶ  
歴史群像編集部 / 編  
背ラベル [21マ23]



歴史上の事件や建物などを、3種のイラスト(透視・パノラマ・再現)で見よう!(長篠・設楽原の戦いもあります)

絵本

## 「大ピンチずかん 2」

すずき  
鈴木 のりたけ / 作  
背ラベル [た23]



突然やってくる大ピンチを描いて、あるある…と大爆笑の前作。今回採用されたピンチの理由を探るグラフがまた愉快です。

絵本

## 「ぼくはなんのほん?」

カロリーナ・ラベイ / 著  
背ラベル [ほ23]



夜の図書館に寂しそうな本が一人。“誰も読んでくれない。自分が何の本なのかもわからない”と。それを聞いて仲間の本たちは…。

### ～特別館内整理と休館について～

2月19日(月)から29日(木)まで、特別館内整理(蔵書の点検・整理など)のため休館します。本の返却は、新城図書館または各総合支所にあるブックポストをお願いします。相互貸借本や付録のAV資料などは、開館後にカウンターへ直接お返しください。



### ～特別貸出のお知らせ～

特別館内整理に伴い、**2月4日(日)から18日(日)まで**特別貸出を行います。期間中は、一人**15冊まで4週間**借りることができます



新城図書館  
ホームページ

### 生涯学習イベント情報

市ホームページ



マナビノピラ



## 残ったごはんでおやき風おやつ



普段は廃棄してしまう部分などを活用した環境にやさしいエコレシピです。

レシピ：農村輝きネット・しんしろ

### 材料(4人分)

残ったごはん	茶碗1杯分 (約150g)
小麦粉	130g
細ねぎ	1本
水	200ml
しょうゆ	少々
ごま油	適量

### 豆知識

米の品種ではコシヒカリなどが有名ですが、新城市では主にミネアサヒ、あいちのかおりなどの品種が栽培されています。ミネアサヒは、(一財)日本穀物検定協会が実施する米の食味ランキングで最高ランクの特Aを獲得したお米です。

問合せ 23-7632 農業課

市民の皆さんからの情報をお待ちしています。イベント紹介や募集、地区の出来事など皆さんからの耳よりな話をお寄せください。  
問合せ 23-7623 (秘書人事課)



あらかると

まちの話題

## サッカー女性審判員の山下さんが講演

11月19日(日)

人権・男女共同参画講演会で、2022年FIFAワールドカップで史上初めて女性審判員に選ばれた<sup>やましたよしみ</sup>山下良美さんが講演をしました。参加者約250人の前でジェンダーギャップなどを女性審判員の目線で語りました。



## 東郷東小学校で自転車安全教室

11月21日(火)

地域おこし協力隊員で、ロードレースの大会に出場している現役選手の小山貴大さんをはじめ、国内トップ選手が講師となり自転車安全教室を開催しました。講義の後、児童たちは自転車トレーニングマシンなどを体験しました。





## 防災キャンプ in 鳳来中部を開催しました

11月25日(土)、26日(日)

鳳来中学校体育館で地震災害を想定した1泊2日の避難所運営訓練に約60人が参加しました。避難所に訪れる様々な課題に対し、参加者同士で協力し、避難所の運営を行いました。

訓練を通し、非常食などの物資の備えだけではなく、気持ちの面での「そなえ」の大切さに気付きました。



## 豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部と子育て支援に係る連携協定を締結しました

12月4日(月)

教育・保育及び子育て支援分野において人的・知的資源の交流と物的資源の活用を図ることで地域社会の発展と人材育成に寄与することを目指します。



## ムエタイ世界選手権の優勝報告

12月7日(木)

千郷中学校3年の片山魁かたやま かいさんがカンボジアであった格闘技ムエタイの世界選手権45キロ以下級で優勝し、市長に報告しました。2022年に国内大会で優勝し出場権を得た片山さんは、シュートボクシングや空手などの大会で11回優勝しています。



## オレンジページジュニア料理選手権で準グランプリ

12月7日(木)

鳳来中学校2年生の鈴木芽依すずき めいさんがオレンジページジュニア料理選手権(オリジナルの部)で準グランプリとなり、市長に報告しました。

複数の部で構成されるこの選手権は、「食の甲子園」ともいわれ、全ての部を合わせ約1万4000作品がエントリーされていました。

